学校番号	112

令和８年度　社会科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	政治・経済　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中に配布したプリントをノート見開きの片面に貼り、もう片側は自由にノートを作成してもらいます。授業のメモとして、驚いたこと、感じたこと、イラストなど自由にノートに書き込みましょう。
・現在の日本や世界の様々なシステムを学習することにより、現在の自分を、そして未来の自分の在り方を世界の変化の中で考えていきます。

2　学習の到達目標

1　社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。
2　国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養います。
3　よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け，国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題について考察し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に構想したり，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり，表現したりしている。	よりよい社会の実現のために，国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識および技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第1編　現代日本の政治と経済 第1章　現代日本の政治	1節　民主政治の成立 ①民主政治の成立 ②法と民主政治 ③18 歳からの社会参加①（18 歳になるとできること） ④基本的人権の確立 ⑤現代の民主政治 ⑥世界の主な政治体制	a:基本的人権の確立過程を通じて民主主義の基本原理について理解している。 b:民主政治にとって権力分立がなぜ重要かに着目して考えている。 c:民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映され、どのような課題があるのかを主体的に考えようとしている。	定期テスト、レポートなど	定期テスト、レポートなど	レポートなど
		2節　日本国憲法の基本原理 ①日本国憲法の制定と基本原理 ②基本的人権の保障 ③平和主義	a:大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解している。 b:基本的人権の保障や平和主義などがなぜ重要かに着目して考えている。 c:「公共の福祉」や日本の安全保障について、どのような課題があるのかを主体的に考えようとしている。			
		3節　日本の政治機構 ①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治	a:日本の三権の内容を憲法の条文をとおして理解している。 b:三権の特性をチェックアンドバランスに着目して考えている。 c:三権の制度にどのような課題があるのかを主体的に考えようとしている。			
		4節　現代政治の特質と課題 ①戦後政治と政党 ②選挙と政治意識 ③世論と政治参加 ④18 歳からの社会参加②(選挙権の行使に向けて)	a:戦後の政治の流れ、選挙制度、世論と政治の関係や18歳からの選挙権行使について理解している。 b:政治にとって選挙制度がいかに大きな影響を与えるのかに着目して考えている。 c:日本の政治における争点や政治的意見について具体的な政策をもとに,自分が賛同する政治的立場について主体的に考えようとしている。			

二学期	第2章　現代日本の経済	１節　現代の資本主義経済 ①経済活動の意義 ②資本主義経済の発展と変容	a:経済活動の基本原理と資本主義経済と社会主義経済の原理について理解している、 b:今日の資本主義経済にどのような課題があるかに着目して考えている。 c:経済体制の違いによって生じるそれぞれの課題について主体的に考えようとしている。	定期テスト、レポートなど	定期テスト、レポートなど	レポートなど
		２節　現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 ②生産の仕組みと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長 ⑤金融の仕組みと機能 ⑥18 歳からの社会参加③（ライフプランと金融） ⑦財政のしくみと機能	a:それぞれの経済主体の活動の内容、市場経済の機能と限界、経済指標、金融の仕組みについて理解している。 b:経済活動をささえるシステムにどのような課題があるかに着目して考えている。 c:経済活動をささえるシステムが自分たちの生活にどのようにかかわって影響を与えているのかを主体的に考えようとしている。			
		３節　日本経済の発展と現状 ①戦後日本経済の発展 ②日本経済の現状	a:戦後の日本経済の発展について理解している。 b:日本経済が世界経済とのかかわりの中で発展してきた点に着目して考えている。 c:現在の自分たちが置かれている日本の経済状況が戦後の経済発展の過程の中でどのような位置にあるのかを主体的に考えようとしている。			
		４節　福祉社会と日本経済の課題 ①公害と環境保全 ②農業・食料問題 ③中小企業の現状と課 ④情報化の進展と社会の変化 ⑤消費者問題 ⑥18 歳からの社会参加④(消費者市民社会の実現に向けて) ⑦雇用と労働問題 ⑧18 歳からの社会参加④	a:環境問題、農業・食料問題、中小企業問題、消費者問題、労働問題、社会保障の問題など制度について理解している。 b:日本が抱えるそれぞれの課題に着目して考えている。 c:これからのあるべき姿やシステムなどについて主体的に考えようとしている。			

		（働き方について考える） ⑨社会保障と福祉				
	第3章　現代日本の諸課題	現代日本の諸課題 ①少子高齢社会における社会保障 ②地域社会の活性化 ③多様な働き方・生き方の実現 ④中小企業の意義と課題 ⑤日本の財政の健全化 ⑥持続可能な食糧・農業の実現 ⑦防災と安全・安心な社会の実現	a:少子高齢化の現状、地域社会の現状、ジェンダー平等の現状、日本の財政の現状、防災と安全について理解している。 b:日本が抱えるそれぞれの課題に着目して考えている。 c:日本は、どのような「福祉国家」をめざすべきかを主体的に考えようとしている。			
	第1章　現在の国際政治 第2編　グローバル化する国際社会	1節国際政治の仕組み ①国際政治の特質 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と課題	a:国際社会の構成要素や国際法について理解している。 b:国家間の問題解決に向けて、国際連合など国際機関の役割や課題に着目して考えている。 c:どのような国際社会のシステムが望ましいのかを主体的に考えようとしている。	定期テスト、レポートなど	定期テスト、レポートなど	レポートなど
		2節　複雑化する国際政治と日本 ①戦後国際関係の展開と日本 ②冷戦後の国際関係と日本 ③地域主義の動き ④軍縮の動向と課題 ⑤紛争・難民・テロリズム ⑥国際社会における日本の役割	a:冷戦体制、冷戦後の国際関係、軍縮や紛争の現状を理解している。 b:国際社会が抱える課題に着目して考えている。 c:日本が直面している課題や果たすべき役割について主体的に考えようとしている。			
	第2章　現在の国際経済	1節　国民経済と国際経済 ①貿易と国際収支 ②戦後国際経済体制の展開 ③発展途上国の経済	a:貿易、為替、国際収支の仕組み、国際経済体制について理解している。 b:統計資料に着目して考えている。 c:南北問題や貿易自由化によって生じる問題に対し、その解決方法を主体的に考えようとしている。			

		2節　世界経済の現状と課題 ①グローバル化する世界経済 ②地球環境問題 ③資源・エネルギー問題 ④人口・貧困・感染	a:経済のグローバル化の現状や地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・貧困の問題について理解している。 b:それぞれの課題の原因と解決策に着目して考えている c:課題解決のために、自分たちが行動すべきことを、主体的に考えようとしている。			
	第3章　国際社会の諸課題	国際社会の諸課題 ①グローバル化にともなう社会変容 ②地球環境と資源・エネルギー問題 ③国際的な経済格差の是正 ④イノベーションの促進と成長市場	a:多文化共生、温暖化対策、貧困と開発援助、医療のイノベーション、民族問題、SDGｓについて理解している。 b:それぞれの課題の原因と解決策に着目して考えている c:課題解決のために、自分たちが行動すべきことを、主体的に考えようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度